

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【 / 年】

私はこれまでの様々な企業の話を聞いて疑問に思っていたことがあった。特例子会社と親会社の間では障害者雇用に対する意識の差は感じられた。障害者の雇用は障害者を抱えている部門や特例子会社任せにしているかという点について。質問には、企業の方の答えは様々だった。ある企業は親会社は障害者雇用の存在について忘れていて半年に一回の報告でいいとしか考えていない、それがある会社は定期的に本社から役人が来て障害者の方と会い、仕事をしている様子を見学してくれて、よくサポートしてくれているといった。私は、会社で法定雇用率を満たしているからには、親会社も含めて障害者雇用に関心を持ってほしいと思う。私も、都心だけじゃなく地方にも仕事の場を広くて日本全体で理解し、共有する話題だと思う。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【 / 年】

それぞれの企業の方から、Yes, Noのふたを使ってたくさんの質問に答えていただき、今までの内容を振り返るとともに、障害者雇用の現状と将来についてさらに理解を深めることができた。障害者を雇用する上では様々な思いと悩みがあるように感じたけど、これから障害者雇用に力を入れたい企業の方々がたくさんいて、もっと今後この業界も発展していくのではないかと感じた。この授業全体を通して、新鮮なお話がたくさんあって勉強になりました。企業の方、ありがとうございました。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【 / 年】

質疑応答の中で、障害特性のふたに必要な配慮なのかな、個人の性格や性格の強弱による難しいという話に印象的だった。同じ障害を持っていても各個人によって必要な配慮は異なるのだ。障害への医学的知見も十分に持った上で対応していかないとはいけなことはないと感じました。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【1年】

『合理的配慮』(フイイヘバ)『過重に負担』(カモラフイニカ)『ある』(イウ質問) に対して、自分から言い出せたい障がい者の数が多いため、何かにいいことがある。と答えた方が、いふしゃ、ニカ印象に残った。ニカまじの講義を受け、我慢強いや、フイイと言ったときに周りの人にどう思われるか怖い、と思うものが多し話にニカニカを思い出した。そういったことを言い出せばよいよう(ニカ)需要を つくるためには、健康者の意識を変えていかなければいけないと思った。色々の会社のいい点を採用しながら、より良い障がい者雇用が、できる良いと思った。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【1年】

皆々、障がい者雇用をしている企業なのに、その方法や考え方は様々で面白いと思えました。私はこの授業を受ける以前、障がい者雇用について何も知りませんでした。この授業を受けて、障がい者の雇用はデメリットだけでなく、メリットもあると知ることができました。私が企業に就職したとき、障がい者雇用には「ア」(ニカ)わけてら 楽しい(ニカ)と思いましたが、ア(ニカ)わらふ(ニカ)としても、一斉に働いたら、ア(ニカ)ム(ニカ) できることがある(ニカ)と思うようになりました。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【1年】

障がい者雇用にとって、少しでも長く働いてもらうことを大切にしている、率をあげるために雇っているのではなく、質の良さも重視していることがわかった。企業同士間でもお互いに、見守りあう(ニカ)箇所を 取り入れあうとしていて、内輪でとどまらず、満足せず、さらに上を目指していることがわかった。今回の最終 講義を聞き、他社と連携して取り組んでいる企業が多いことがわかり、ライバル意識というよりは、互いに高め 合っていることが伝わってきた。だからこそ、現在の大企業にア(ニカ)ていると思った。どんな企業の方も、障がい者の 見方が障害者と区別なく見ていて、偏見のない世の中を推奨しているようにも感じた。雇用率をまだ達成 していない企業や、関心もない企業に対しての取り組み(対策)を、もっと盛人にしていけば、日本全体で障がい者 をサポートできると思った。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他(理)】 学年【1年】

合理的配慮の加減が難しく障害の特性がわかままなのかサポート側がわかる、という話は同じく障害者の家族を持つ私にとっては、本当にその通りだと納得した。健常者と障害者は外見では区別できないことも多く、周囲からの理解が得られにくいと言われていることも忘れてはならないと感じた。障害者の使金が上がってほしいと思う。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【1年】

法定雇用率を上げてないで欲しいか否かの質問に対して賛否両論で、上がって問題ないという意見や、数ありまじ上げは良いという意見、一方上げに方がよいがそのスピードによるというおたなど1つの質問に関しても様々な意見や見方があることが分かり難いを実感しました。

また、親会社へ言いたいことがそれぞれの企業であるのに言えない現状があるのと同じく、言えるような環境作りが大切だと思ひました。春学期の講義ありがとうございました。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【1年】

初めて障がい者雇用の有り方について今学期学びました。とても興味深い内容が良かったです。

その中で、私は日本という国自体障がい者との向き合う仕方を変える必要があると思ひました。学校(公立の)に障がいを持った子どもをもっと通えるようにしたいと思ひます。私はアメリカの小中学校に長年通ったことも障がい者との向き合い方がアメリカの方がちゃんしていると感じました。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【 / 年】

この授業を通して、今まで知らなかったような事を色々学べる貴重な授業
 となって本当に良かったと思います。障がい者雇用をやる上で様々な問題点
 がある中でそれを試行錯誤しながら問題解決に取り組み、企業に
 しても障がい者にとっても良い会社を作るのはたにさんとの協力が不可欠だ
 と思いました。現状では、障がい者雇用において生じるコストや時間を越え
 られるように戦力と化していくことは難しいと思うが、少しずつ改善を
 重ねていくは戦力として世の中に認められる時が早く来てほしいと思います。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【 / 年】

合理的配慮について、企業の方から観望を伺うことができない。日本人の働き方
 に見直すべき点があること多くの企業の方から感じている。やはり日本人は
 生真面目で大切なことを忘れて仕事をしているのか、と思った。法定雇用率
 を上げることに抵抗がない企業が多くて嬉しかった。特別支援学校の指導
 に課題がありそうだった。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【 / 年】

各会社、極端に暇間にはいろいろ答えていたが、全体的に予想通りの答えだと思いきや、
 ちいさい予想外の答えが、あつた。これは企業の本音に近いことを言っているのだ。
 と思いきや、障害者雇用について深く知ることができた。機会としてはよかった。

最後に本質問ではお答えできず申し訳ない。

Q. どうして障害者の私生活に踏み込んでいくべきかわからないという企業さんが多いのは、
 国や法律によるものなのか、障害者雇用について足踏みしているのか、

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【2 年】

可視化できない部分の線引きというのは非常に難しいな、と思った。あくまでも業務上に関しは健康者と障がい者はフェアであるべきだが、 $T=T$ 障がいに対する配慮は必要だと思われ、2つ目の質問の「過重な負担」というのは悩ましい問題である様に感じた。加えて、その質問に対する回答も企業毎で異なっていることから、深く考えなければいけない課題なのではないか、と思った。これを通じて思われる「障がい者雇用の多様性」があり、それゆえに障がい者の職が増えているという一方で、それ以外の企業の業務体制に合った雇用形態が必要とされ、その結果障がい者雇用をしている企業が賞賛される状況なのだな、と感じた。将来的に「障がい者雇用」という言葉がなくなるくらい、それが当たり前になればいいなと思う。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【2 年】

今日は、これまでお話をうかがってきた企業さんに改めて様々な質問に対する答えが聞けました。キュービーマンがインターネットを利用したテレワークを適用する中で、障がい者の方と仕事をする社員が本当は出勤する必要がないのではないかと思われているの印象的でした。また、障がい者の方々が各社の戦力になっているかという質問に関しては、正確ではなくとも、障がい者の方々の純粋さや明るさが会社にプラスになっているという声や、決して愚劣とはいえないという正直な声も聞くことができた。このように、障がいをもつ方々を雇用することで「働くこと」自体を改めて考え直すきっかけにもなるのだと分かった。半年間ありがとうございました!!

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【2 年】

企業さんびに集まって、それぞれの障がい者雇用についての考えを聞いて比べられる機会は後にも先にも今回だけしかないと思うので、とても貴重な講義でした。お話を聞いて、どの企業さんにもいろいろな考えを持って障がい者を雇用しているのだと改めて実感できました。親会社は特例子会社に全て任せただけではなく、しっかり理解をもたうことで実際に現場に出るべきだと感じました。私は今期のこの採集を受けるまで、「障がい者雇用」について何の知識もなく、ましてや「法定雇用率」という言葉も深く理解したことがなかったのだととても良い機会になりました。これからは興味をもち、将来就職する企業がどう雇用方針をとっているのかなど調べてみたいと思いました。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【2年】

障害者たちのじゃんすいな気持ちに打たられて、感謝しながら仕事をしているとおっしゃって下さる担当者たちのお話をきいて、感謝しました!! 給料をあげることや職場の改善をあらとしつつけることについて、負担ではなく、あたり前なことだと思って、個人の社員として受け入れてくれる会社が未来が社会人になっても身につけなければならぬ態度だと思いました! 各会社の意見を当時にきくことができて、より効率よかったです。すてきな授業、ありがとうございました!!

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【2年】

リクルートの社員さんがおっしゃっていた、「障がい者」という言葉は「女性」という言葉と同じくらい広い言葉であり、もっと広く認知されるべき、もっと考えるべきから脱却すべきだということが非常に印象に残った。
障がい者雇用という分野はまだまだ歴史が短く、現状でかなり課題点があるということがこの講義を通してわかった。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【2年】

障がい者と健常者の賃金にGAPがうまれている現状の中、障がい者の賃金が上げられないか議論を重ねていくべきだと感じた。在宅勤務を考える点で障がい者への負担を軽減し、能力を最大化するためにも賃金と合わせて業務環境の改善を進めていくべきであると質問会を通して学んだ。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【2 年】

半期の授業を通じて実感したことは、障害者雇用最大の問題点は、会社の一部の人のみで占められているということだ。特例子会社の役員や常勤者が試行錯誤している一方で、多くの親会社の社員は先入観を持ち、現場の状況と見えない。政府はこういった点に着目し、企業を支援していくべきである。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【2 年】

障害者雇用の仕事へのとまどいはやはり、自分が既にそういった世界に近づくはげまされようかと思う。一人一人にとっての「過重」さはその人の障害の度合いや性質に依存する。それが雇用する側にも判断を委ねられてしまう、という点もまた難しいなと思った。障害者の働き方を考えることで、自分達の働き方自体をも考えることになるんだな...と。「法定雇用率を上げる」ことが解決策と思われがちだが、良品計画の方のおっしゃる様に「0から1にすること」の大切さを強く感じる。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【2 年】

一番興味深い質問は、「『合理的配慮』について、何が過重な負担なのか分からない」という問いであった。確かに、そもそもどこからどこまで「合理的配慮」なのかという定義が難しいなと感じた。そして、この線引きが上手くでき過ぎてはいけなくて、障害者雇用を上手く進めることができれば否かに深く関わってくるのだと思うと感じた。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【2 年】

たくさんの方々の企業の方々にお願いしたところ、まず、これだけの大手企業の方々の一同に
 とうり機会（はめ）に「いいの？」ととても良い経験ができました。様々な質問の
 あたり、答えが「ばらばらなもの、一致するもの、立ち入りによる様々なもの、企業の
 方々が障害者雇用に関心を持って取り組んでいること」とも伝わりました。とくに、
 親会社との連携が今後大切になってくるのではないかと思います。それから、
 これは余談ですが、リゾートトラストについて私も調べてみました。本当にすごいところ
 で、びっくりしました。障害者雇用率と社員の比率を上げて改められました。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【2 年】

今までのご講演いただいた全ての企業さんのお話を聞くことができて
 興味深かったです。企業の方々の多くが、自社の障害者雇用のやり方
 を他社にも教えていることや、逆に他者の企業の良いところを見習っ
 ていることもありと知り、印象的でした。また、障害者雇用には難し
 い面が多いものの、健全者が障害者から学ぶことはたくさんあり、
 障害者雇用をやる意味は、法定雇用率達成以外の面で十分あると
 思いました。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【2 年】

質問が「こんなことでいいのかな？」と受けていた。企業のみならずも
 ざっくりと聞いてもらって、普段は絶えず聞いている
 ことばかりでした。もう少し専門的なことを体系的に
 教えていく機会があればいいです。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他(環)】 学年【3年】

春学期間 おかげでございました。色々な企業、方々講義に来てくださり、独自の観点からお話をし頂くのが とても面白く、毎回楽しみにしていました。最後の日には、ご講演して下さいた企業様が一室に会って質問を受け下さる授業は他にないと思います。

||||||| |||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他(総)】 学年【3年】

今日の講義では、これまで講義していただいた企業の方々のお話を質問を通して聞けたのが良かった。各企業違った意見や同じ意見もあり、改めて障がい者雇用についての重要性を感じた。企業の特色や仕事内容など、それぞれの企業が参考にしたりしている点も良いと思った。
私にとっても とても良い講義でした。ありがとうございました。
先日は

||||||| |||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【3年】

最後の授業でこうして企業の方々に来て頂いて質問に答えて頂く とても貴重な時間だったと感じた。又同じ質問に対して、YESとNOに立つ企業それぞれの意見を聞き比較することが出来て良かった。どの答えも、平音を聞くことが出来てそれぞれの企業のイメージについて分かった。

||||||| |||

学部【☒文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【1年】

企業によって抱えている問題も様々に異なり、取り組みも異なり、たくさん知識を吸収することができ、有意義な時間を過ごせました。ダイバーシティといわれる障害者雇用の中にも多様性があり、視野の幅を広げる必要があるなと痛感しました。この知識を障害者雇用以外の場面でも活用したいと思ったり。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【__年】

大企業の人と一緒に会って質問に答えるという機会があったのは、とても貴重なものだと感じました。どの企業も障害者雇用について向上心を持っていたので、日本にも未来があるかなと思いました。この授業を受けてから、周りにいる障害者に目が行くようになりました。私が働いているパートでは、多くの障害者の方が清掃業務に携わっており、きちんと働いているように感じます。障害があってもきちんと戦力にすることがよくわかった授業でした。

|||||

学部【文・経・法・政・商・医・薬・その他()】 学年【__年】

ズラッと並んだのは社員でした。解答の傾向から、障害者雇用の担当者として、社内の他の人間との間に、理解度や認識の面で隔りがあると感じた。経営結果が大切な企業の中において、障害者の勢力が弱いとも感じた。ただ同じ担当者として、横の共感やつながりは強そうで、企業毎の垣根を超えた連携などができればよいと思う。

|||||